

## 維孝館学園クリエイイト会議「第1回学校視察研修」 における本町委員からの質問とその回答（概要）

教育委員会学校教育課

11月12日（火）に実施した池田市立ほそごう学園の視察における委員の皆様からほそごう学園への質問とそれに対する回答の概要をまとめました。

### Q1 池田市の教育の状況は？また財政状況は？

- A 教育日本一の町を目指し、前市長がICT教育、外国語教育、小中一貫教育の充実に取り組んでこられ、財政的にも厳しい中でお金をかけていただいた。市長が替わってからも継承されている。

### Q2 児童生徒数の今後の見通しは？

- A 大きくは変わらないが微減傾向にある。

### Q3 小学校（前期課程）と中学校（後期課程）の教員の乗り入れや交流状況は？

- A 一つの学校なので、研究事業（授業研究等）は9学年一緒に行い、校務分掌も9学年で共有している。開校当初は全体の職員会議と小中学校別の職員会議がそれぞれあったが現在は全体の職員会議のみである。  
乗り入れは、中学校の美術教員が小学校の図工の授業に、体育教員が小学校の体育の授業に、数学の教員が小学校の算数の授業に行っている。

### Q4 子どもたちの様子で変化はみられるか？（生活面、学力面、体力面等）

- A 生活面では、初めは中学生から小学生にじゃまされるという訴えが一部あったり、小学生の保護者がいじめやけがなど安全面で心配という声があったりしたが、今は同学年のトラブルはあっても異学年のトラブルはない。中学生は優しく、小学生の良い見本となっている。  
また、6年生のリーダー性が発揮できないという声もあったが、意識を改革する中で中学生への準備期間として様々な取組を行い、成長している。  
学力面については数値的には上がったということはない。家庭学習が少ない点や自尊感情が低い点が課題なので全校で課題を共有し、授業改善に取り組んでいる。  
体力面では、スクールバス通学の児童が増えたので体力不足にならないように取組を進めていきたい。

Q5 開校準備会の構成メンバーは？

- A 古くからのPTA役員と当時のPTA役員が自発的に取り組み立ち上げた。その後、教育委員会事務局も開校準備会と連携しながら新しい学校について考えていった。

Q6 学校運営協議会はどういった活動をしているのか？

- A 以前から学校と地域との連携協働がさかんな土地柄で、20名の委員からなる学校運営協議会が年間5回会議を行い、学校と協議しながら地域人材の活用や時には市への要望などを行っている。要望の中で他地域から特認校のほそごう学園に通学している児童生徒への通学費用の2分の1補助が実現した。

Q7 保護者や地域への広報での仕掛けが充実しているように感じるが、担当等は？

- A 副校長による発信が中心でホームページ、広報紙の両面に取り組んでいる。市がシステムを改善し、発信しやすいものにしてくれた。

Q8 教員の配置等に工夫は？

- A 基本的には国の定数が基準となっているがプラスして多くの加配をいただくように働きかけている。また、市費負担の教職員をつけてもらっているのと、地域の方々にできるだけ学校に来ていただき授業や環境整備など様々な面で支援していただいている。学校運営協議会の予算を地域人材活用の費用にもあてている。

Q9 前期課程の担任と後期課程の担任の入れ替えはあるのか？

- A 現在の所はない。前期課程、後期課程の枠内で担任を配置している。

Q10 部活動の状況はどうか？小学生は参加しているのか？

- A 5、6年生については、部活動に入れたい思いもあるができていない。小学校で部活動顧問を希望する先生には顧問になってもらっている。現在、教員で義務教育推進委員会を設置し、部活動と宿泊行事の在り方について検討を進めている。

Q11 通学についての状況は？徒歩通学の最長はどのくらいか？

- A 前期課程の児童はバス停まで遠い児童で7～8分徒歩で行き、スクールバスに乗る。近隣の児童は徒歩で、最長の子供は15分くらい歩いて通学する。  
後期課程の生徒は近隣の生徒が徒歩、それ以外の生徒のほとんどが自転車通学であるが、遠い地域の生徒は近くのバス停まで自転車で行き、そこからスクールバスに乗ってくる子もいる。

Q12 前期課程修了後私学の中学校に抜ける生徒はどのくらいいるのか？

A 私立の中学校には、平均して毎年2～3人、1割弱程度進学する。

Q13 時間割はどのようにして組んでいるのか？

A 小中学校（前期課程、後期課程）の教務主任で学期毎に打ち合わせ、細かい点は登下校バスの時間帯も含めて週毎や必要に応じて日常的に打ち合わせを行っている。

Q14 放課後は中学校の部活動と小学生の遊び場所が重なったりしないのか？

A 当初部活動は旧小学校のグラウンドを活用することも考えたが、小学生はスクールバスで下校するので学校に残り遊ぶことがない。時間帯が重ならないので特に困ったことはない。

Q15 小学校の跡地利用はどうなっているのか？

A 校舎や教室は民間の介護施設や民間のフリースクールとして活用されている。その他の空き教室等は地域の人との会合や集いの場として活用されている。グラウンドや体育館は地域や社会体育団体に貸し出している。

Q16 行政的には一貫校の効果や影響についてはどのようなものがあるか？

A 特認校ということもあり、他校区からの児童生徒が転入学してくるのと、ほそごう学園に転入学するために他市町から引っ越して来る人もでてきている。